



リサイクル図書用書架の贈呈

高等部の木工班が作成したリサイクル図書用の木製書架を白浜町立図書館に寄贈し、JR白浜駅の待合室に設置されました。県教委が、家庭で読まれなくなった図書を活用している団体に、高校生が作成した書架を贈呈するという「読書を楽しむ習慣作り事業」の一環です。書架は、県産木材を使用し、側面には、パンダ、円月島、温泉マークなどの白浜にちなんだデザインの木工細工が貼られています。9月1日（木）の贈呈式では、本校高等部の生徒も出席し、「書架を作ったのは初めて。多くの人に使ってほしい」を話していました。



寄宿舎お月見会

9月10日（土）は、中秋の名月で、1年で最も美しいといわれる満月が、雲の間から見られました。寄宿舎では、9月12日（月）、お月見会を行いました。夕食後、プレイルームに集まり、指導員からお月見の話聞いた後、3つのチームに分かれて、チーム対抗でお月見に関するクイズ大会をした後、各自がウサギのイラストを描いた紙皿を的に向かって投げる「お月様に届け！ウサギさん！ゲーム」のレクリエーションで盛り上がっていました。その後、満月を鑑賞する予定でしたが、あいにく雲で隠れて見る事ができませんでした。日が沈むと少しずつ秋の訪れを感じるようになってきました。



不審者対応訓練

白浜警察署の方々に来ていただき、不審者対応訓練を行いました。今年度は、授業中に実際に不審者が校内に侵入したという想定で、教職員で不審者の対応を行うとともに、校内放送で連絡し、子どもたちを安全な教室に避難誘導し、教室を施錠し、待機しました。クラスによっては、ドアの近くに机を置いたり、カーテンを閉めたりして、落ち着いて行動することができていました。また、先生方も白浜警察署員の方々の指導のもと、不審者に対応することができていました。

緊急時に落ち着いて、適切に対応するためにも、日頃から、全教職員で訓練を行うことが大切です。



乗馬体験教室

9月10日（土）、第1回乗馬体験教室を田辺市立三栖幼稚園の園庭で行いました。はまゆう支援学校いきいき交流教室の事業として毎年実施しています。前日まで、雨模様だったのですが、雨も上がり、本校の児童生徒とご家族21名が、参加しました。例年は、小型種の馬だったのですが、今回は大型の白馬「ビルノ号」でした。ビルノ号は、今年の5月に和歌山市で行われた「和歌祭」で、徳川吉宗に扮した松平健さんを乗せて、行列を先導しただけあって、堂々としていました。子どもたちは、園庭を2周した後、更にもう1周しました。昨年も参加した子どもたちは、自分でヘルメットを選んで、順番を待っていました。回を重ねるごとに、余裕の笑顔がみられ、馬とのふれあいを楽しんでいました。

